

2016年11月4日

報道関係各位

「産」と「学」の共同研究機会の拡大にむけて

**産学連携としては大規模な5万化合物を東京大学創薬機構へ提供**

－ アカデミアとの連携を強化し、画期的新薬の創製に挑戦 －

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：三津家 正之）は、国立大学法人東京大学（東京都文京区、総長：五神 真、以下「東京大学」）との間で、アカデミア発創薬の実現をめざし、同大の創薬機構に産学連携としては大規模な約5万種の医薬品化合物ライブラリーの提供について契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

東京大学創薬機構は、生命現象の解明や難病克服など国民の健康増進に貢献することを目標とし、創薬研究の初期段階で必要とされるスクリーニング（新薬の候補となる化合物を探し出す）研究を希望する全国のアカデミア研究者に、様々な支援を行っています。今回の5万化合物の提供により、アカデミアにとっては、「産」と「学」の協力体制の一層の強化により、アカデミアの基礎研究成果の社会還元がより効率化できることを期待されています。田辺三菱製薬は、全国のアカデミアへ創薬研究機会を提供することで、アカデミアとの共同研究への発展につなげ、中期経営計画に掲げているプロジェクト数の倍化をめざしてまいります。

田辺三菱製薬は、これまでの創薬研究で培ってきたナレッジや資源を、積極的なオープンイノベーション活動に用いることで、独自の価値を一番乗りでお届けする、スピード感のある創薬企業をめざし、世界の人々の健康に貢献していきます。

« 本件に関するお問い合わせ先 »

田辺三菱製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6205-5211